

## 第42回 JORA テクノフォーラム開催案内

### 『MRM 亜臨界水技術による包括・効率的なバイオマス資源循環』

東日本大震災・熊本地震・平成30年7月豪雨等の被害からの一日も早い復興をお祈り申し上げます。

平素は当協会の活動に格段のご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。

わが国のバイオマス活用の取組は、「バイオマス・ニッポン総合戦略」「バイオマス活用推進基本法」「バイオマス活用推進基本計画」「バイオマス事業化戦略」等の施策に基づいて進められ、低炭素社会や資源循環型社会の実現はもちろんのこと、発生から7年半が経過した東日本大震災他、各地の天災被害からの復旧・復興を起点とした農林漁業の再生や地域分散型の資源やエネルギーの供給・調達等の観点からも本格的な普及・実現段階を迎えており、国内のみならず国際的にも大きな期待が持たれています。

地域においては、バイオマスタウン構想の発展・高度化や都道府県・市町村のバイオマス活用推進計画の策定を推進し、地域バイオマスを活用したグリーン産業創出と地域循環型エネルギーシステム構築に向けた「バイオマス産業都市」の構築と事業化を加速的に進めることとしており、「バイオマス産業都市構想」の認定や関係省庁による施設整備等に対する様々な支援事業も実施されております。

当協会では、平成24年度から始まったFIT（固定価格買取制度）やパリ協定に基づく気候変動対策、SDGsの目標達成等への対応など、バイオマス活用について新たな観点からの技術開発やシステム構築に加えて、商業化可能な実用モデルの構築が不可欠であると考え、広く関係者による知見の習得や実用技術、課題、事業性に関する情報・意見の交換を目的として「JORAテクノフォーラム」を随時開催しております。

第42回目となる今回は、MRM 亜臨界水技術による包括・効率的なバイオマス循環利用と地域創生についてご講演いただき意見交換を行いますので、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

#### 記

- 開催日時 : 平成30年10月24日(水) 時間は13:30~16:30(予定、質疑応答含む)
- 開催場所 : 馬事畜産会館2階 第2・3会議室(東京都中央区新川2-6-16)
- 参加費 : JORA会員 : 1,000円  

バイオマス活用アドバイザー	}	: 2,000円	}	(いずれも会場費、資料代、諸経費を含みます。)
バイオマスマーク取得企業				
全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員				
日本バイオマス製品推進協議会会員				
リン資源リサイクル推進協議会会員				
一般		: 3,000円		
- 演題・講師 : 『MRM 亜臨界水技術による包括・効率的なバイオマス資源循環』  
 芝浦工業大学 名誉教授, 中央大学 理工学研究科 客員研究員,  
 // 研究開発機構 教授 (Team SCW)  
 松下 潤 氏
- 申込み : 裏面の参加申込用紙に所定事項をご記入の上、平成30年10月22日(月)までに、JORA事務局あてにファックスあるいはE-mailにてお送り下さい。  
 WORD版の参加申込書は、外部データダウンロードサイト (<http://xfs.jp/gQkR17>) からダウンロード願います。

以上

## 第42回 JORAテクノフォーラム 参加申込用紙

開催日時：平成30年10月24日（水）13：30～16：30（予定）

開催場所：馬事畜産会館2階 会議室

区分	JORA 会員		バイオマス活用 アドバイザー マーク取得企業 協議会会員		一般 (左記以外)	
法人・団体名称						
連絡 先	住所	〒				
	電話番号		FAX 番号			
	E-mail					
番号	ふりがな 出席者お名前	ご所属（部署）			役職	
1						
2						
3						
4						

※「区分」欄には、該当箇所「○」を記入願います。

※ 出席者に関する連絡先が異なる場合、お名前欄が不足する場合は、別紙にてお申込み願います。

※ ご記入頂いた個人情報は、本テクノフォーラムの受付事務他、当会の活動にのみ使用させていただきます。

### ◆アンケートにご協力願います◆

今後希望するテーマや変換技術等がありますか？	
本テクノフォーラムで貴方（貴社・団体・等）の技術や取組についてご講演しませんか？	
その際のテーマは何ですか？	

ご協力ありがとうございました。